

## 1 事業の成果

2020年東京オリンピック・パラリンピックを前に、パラリンピック教育に意識の高まる中、パラリンピックの意味やレガシー、道徳・福祉・人権教育を考えるのに活用できる「学校訪問事業」が重要視されるようになってきていると感じています。復興支援事業では、「福祉医療機構」の補助金を頂き、大学連携・人材育成を絡めて子どもの学習支援事業を行い、参加者に変な喜びました。

ダイバーシティという言葉をよく耳にしますが、本当の意味でのダイバーシティとは、ダイバーシティ・インテグレーションのことだと我々は理解しています。ただ障がい者を受け入れましょう、ではなく、障がい者も高齢者も、子どもも、全ての人がある人の力に合った働き、社会参加が出来るような社会がダイバーシティ・インテグレーションであり、ただ混ぜればよいと言うだけのものではありません。より多くの人がある人の価値を社会に認められ、自分が誇りを持って社会参加できる、そのような社会に近づけるよう、活動を継続していきたいと考えています。今年度の事業は以下の通りです。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
障がい者支援事業	障がい者スポーツ体験事業	6/12 ~ 2/25	全国125ヶ所の小・中・高体育館	454人	13,659人	13,244千円
	連合「愛のキャンパ」	2/27、3/7	大阪府・埼玉県(全2回)	13人	225人	
	JKA補助事業	6/14-2/12	全国25ヶ所	125人	3,620人	
震災復興支援事業 (福祉医療機構助成事業)	学習支援事業	4/2-3/25 104回	「サライ」	208人	1406人	7,000千円
	子ども図書室	8月6日~ 3月25日	「サライ」	128人	300人	
	大学連携	7月16日、 9月3~4日 9月末	法政大学 気仙沼市内 法政大学	19人	43人	
	子どもイベント	8月24日 1月3日	海の市 サライ	35人	192人 78人	

## (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)
—	—	—	—	—	—